

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

由布市長 相馬 尊重

市町村名 (市町村コード)	大分県由布市 (442135)	
地域名 (地域内農業集落名)	下市 (下市・北方)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月18日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

認定農業者を中心に経営している。水稻・飼料用水稻・イチゴ・野菜・小麦等の栽培が盛んな地域である一方、近年は宅地化が進んでいる地域でもある。担い手への農地集積・集約化や後継者確保が行われており、近い将来農地の出し手はいないが、一方で、担い手の確保は十分ではない。

現在行っている取組は低コスト化、新規就農の推進、有機・減農薬・減肥料栽培、スマート農業、農地の保全・管理、水田の畑地化である。

地域が抱える課題として農業者の高齢化、農業者の減少、後継者の不在、農業にかかる経費の増加、農家収入の低下、新規の担い手不足、遊休農地の増加、鳥獣被害の増加、農業用機械を購入できないこと、新技術導入の知識不足、毎年の大雨による稲の水没やごみの堆積などが挙げられる。

これらの課題の原因や理由として挙げられるのは、物価は上昇しているものの野菜の値段はそれほど上昇していないこと、資材や肥料および燃料費が高騰していること、農業用機械(購入や修理)に使う資金が不足していること、そしてJAなどの農業指導者がいないことである。

主な作物:水稻、飼料用水稻、イチゴ、野菜、小麦

(2) 地域における農業の将来の在り方

規模拡大・低コスト化を図ること、地域の中心となる経営体に積極的に集積すること、地域資源を生かした特産品の生産や加工販売に取り組むこと、減農薬や化学肥料を削減し環境保全型農業に取り組むこと、有機や無農薬栽培など環境に配慮した農業技術を導入すること、センサー・ロボット・人工知能など新技術導入で効率化を図ること、新しい品種の栽培に取り組むこと、担い手確保のため地域で新規就農希望者との交流を図ること、地域の良いところを積極的に情報発信し、移住促進を行うことを目指す。新規就農者の確保のため、圃場の近くの空き家のあつせんと家賃補助を行う。もしくは農機具を収納できる倉庫を確保する。地域の所得向上に向け、米から野菜への転換、輸出向け農作物の生産、有機農業の導入、加工品の製造、作物のブランド化、企業による農業参入、法人の強化・集積、新しい技術の導入、団地の造成に取り組みたいと考えている。現在、地域では高品質の作物を栽培するための高い技術導入と機械化を進めており、多くのマーケットに承認されるブランド化を目指す取組と、多様な販路拡大、農産物の直売に取り組む、地域の所得向上を目指している。また、新規作物の導入として施設園芸による亜熱帯作物(主に果樹)の導入を検討している。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	25.8 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	25.8 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
離農者が出た場合は中心となる経営体に農地を集積し、農地保全に努める。新規就農者の獲得を積極的に目指し、担い手に集積・集約化する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
新規就農者や新規拡大したい農家に優良な土地をあっせん(農地の貸借)するなど、必要性が生じた場合に農地中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
既に実施しており、今後の取組は予定していないが、老朽化が進んでいる。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・新規就農者を確保するためには販路が必要であるため、地元に道の駅的な直売の場所を作る。 ・ゆふ農林業サポート人材バンクとも連携して確保・育成を進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
由布市内の集落営農法人が連携して設立した株式会社ゆふ農業サポートと連携し、作業委託やドローンを活用した事業の取組を集落内でも進める。また、農機具が高くメンテナンスが必要なため、気軽にリースできるところがあればよいと考えている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ②減農薬・減肥料栽培を行っていく。
③作業委託やドローンを活用して効率化を図る。
⑨水田の畑地化、飼料用作物の栽培を行う。